



公共交通という選択

皆さんは、通勤、通学、買い物などの移動の際、何を利用していますか。マイカー利用の増加や全国的な人口減少が進み、公共交通の利用者が減少しています。さらには交通事業者のドライバー不足が問題になるなど、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。

丹波市においても、路線バスや鉄道、デマンド（予約）型タクシーなどの公共交通が運行していますが、マイカーで移動する人が多く、それが減便につながり、利用者がさらに減少する悪循環になっています。公共交通は、学生や運転が難しい高齢者などにとっては貴重な移動手段であり、観光・交流や賑わいづくり、まちづくりにおいても重要な役割を担っています。

私たちにとって大切な移動手段である公共交通を未来に残すため、何ができるかを一緒に考えてみませんか。

☎ ふるさと定住促進課（本庁舎内） ☎ 88 - 5360

知っておきたい公共交通利用の4つのメリット

環境に優しい

ひと1人を1キロメートル運ぶのに排出される二酸化炭素は、バスであればマイカーの半分以下、電車であれば約7分の1で済みます。また、マイカー利用の抑制で渋滞の緩和にも役立ちます。



事故のリスクの回避

普段から運転する人は生涯（50年）のうちで100人中64人が人身事故を起こす可能性があると言われています。一方、公共交通は交通事業者が運転するため、安全性が高く、加害者になることもありません。

健康の増進

歩く距離が短いマイカーに比べ、公共交通を利用すると、バス停や駅からの移動で歩く機会が増えて日常的に運動量が多くなります。

コスト削減

マイカーを維持するには、車の購入費用のほかに、ガソリン代や車検代、保険料などの費用が必要ですが、公共交通では主に運賃のみです。

information

交通系 IC カード ICOCA を活用しよう



市内のバス、鉄道、デマンドタクシーの料金の支払方法は現金のほか、ICカードなどが利用できます。なかでも、ICOCAは共通して利用可能で、スムーズな移動に役立ちます。

丹波市公共交通ガイド 「てくてくたんば」を活用しよう

市内の公共交通の利用方法や時刻表などは、「てくてくたんば」を確認ください。毎年3月に最新版を発行しています。



てくてくたんば



路線バス

利用者が V 字回復

路線も充実へ



遠距離・大量輸送ができる路線バスは、広域な丹波市の基幹交通ネットワークとして重要な移動手段です。一時利用者数が年間4万人台まで減少していましたが、丹波医療センター開院に伴う路線再編や、高校生への通学定期券補助などにより、一部の便では立席が出るなど、利用者数は15年前と同水準の年間約13万人にまで回復しました。また、学校統合による小学生の遠距離通学者への通学支援としての活用も期待されています。

路線再編で市中心部へ乗り入れ

現在、市内を走るほぼすべての路線バスが丹波医療センターに乗り入れています。また、多くの路線でゆめタウンやコープ柏原に乗り入れているほか、鉄道の各駅の発着時間とも合うように可能な限りダイヤを調整されています。



丹波医療センター前のバス停からは多くの人が利用

朝夕は通学手段で大活躍

柏原～青垣路線では、高校生への通学定期券購入補助などにより、高校生の利用が大幅に増加しました。令和5年4月からは統合した山南中学校の通学にも活用されています。



通学に路線バスを利用する中学生

路線バス運行の社会実験を実施

令和6年4月～7月の間、春日・市島地域で社会実験を行います。市内で唯一路線バスが走っていない市島地域から市中心部へつなぐ路線で、同地域から医療センターへの直接乗り入れのほか、利用者が減少傾向にある野瀬線の利便性向上と、市島地域美和地区の今後の通学支援についても検証を行います。

「野瀬発バス路線」運行本数増

中学生、高校生の通学需要の掘り起こし

「美和地区」路線新設

小学校統合後の通学支援

「市島地域から春日地域春日部地区經由
市中心部行き」路線新設

丹波医療センターまでの直行便

interview

リラックスして通学できる

高校1年生の時に地元のバス路線が復活し、自宅近くにバス停ができたので、通学に駅まで利用しています。路線バスがないと、親に送迎してもらうか、自転車で1時間以上かけて通学することになります。路線バスだと、車内で友達と話したり、仮眠したり、リラックスして通学できます。下校時には時間が合わないことがあるので、もう少し便数が増えると良いと思います。



氷上高校2年生
足^{ときと}立刻仁さん



TRAIN

鉄道



今年 JR 加古川線全線開通 100 周年
みんなで乗って未来へつなごう！

市内では、JR 福知山線と JR 加古川線が運行しています。福知山線は市内と大阪や神戸、京都、但馬を結ぶ主要な路線で、長年複線化をめざし、官民一体となって利用促進に取り組んでいます。JR 加古川線は市内から西脇市、播磨方面への通学や買い物などの日常利用のほか、福知山線および神戸線と広域ネットワークを形成して、広域移動を支える重要な路線です。災害時には迂回路として大活躍しましたが、利用者が減少していることから、維持・存続に向けては利用者を増やさなければいけません。

JR 加古川線が深刻な赤字路線の 1 つに

令和 4 年 4 月、JR 西日本が 1 日あたりの輸送密度である平均通過人員が 2,000 人未満の線区の収支情報を公表しました。県内では 4 路線 6 区間が公表の対象となり、中でも JR 加古川線（西脇市駅ー谷川駅間）は輸送密度 321 人と近畿圏内で最も低く、100 円の収入を得るための費用が 1,567 円かかると算出されました。

以前は、都市部の路線や新幹線などの利益によって地方路線を支えていましたが、コロナ禍によってその状況が変わりました。JR 西日本は、各路線の実態や課題を公表することで、沿線自治体などと今後の地域にあった公共交通のあり方を議論していきたいとしています。

JR 加古川線維持に向けた取組

JR 西日本の公表を受け、県では沿線自治体、観光・交通事業者、有識者からなる「JR ローカル線維持・利用促進検討会議」を設置しています。丹波市はその下部組織「加古川線ワーキングチーム」において協議し、令和 5 年度から沿線市の西脇市や県などとともに「加古川線やめられま線プロジェクト」「通学定期券購入補助」など、利用促進に取り組んでいます。



久下村駅前行われた利用促進イベント「久下村夜市」



「加古川線やめられま線プロジェクト」のポスター

「WESTER」を使ってみよう

JR 西日本が提供する移動生活ナビアプリ「WESTER」^{ウェスター}では、さまざまな移動経路検索のほか、座席の予約、ポイントがたまる制度などがあります。丹波市では鉄道利用促進のため、福知山線の市内各駅から ICOCA を利用して乗車すると、運賃の 5 % 相当の WESTER ポイントがたまって、乗車や買い物に利用できる制度があります。※ JR 加古川線（西脇市駅ー谷川駅間）は ICOCA の利用ができません。



移動生活アプリ
WESTER

interview

一緒に加古川線を守りたい

久下自治振興会では地域の財産である加古川線を守るため、今年度は「久下村夜市」や駅を利用したハイキングなど、様々な利用促進に取り組みました。公共交通は生活にとって必要な移動手段です。みなさんもぜひ加古川線に乗り、一緒に加古川線を守りましょう。



久下自治振興会役員の皆さん

DEMAND TAXI



デマンドタクシー



電話で、Webで
予約方法の多様化でさらに便利に！

デマンドタクシーは、自宅から同じ地域内の病院や商店などの目的地まで運行する予約制の乗合タクシーです。鉄道や路線バスで行き来できない交通空白地を解消するため、平成 23 年から運行しています。事前に予約することで、目的地まで乗合での送迎を行っています。

AI を活用した新しい機能が増えました

生活交通として、年間延べ 25,000 人が利用していますが、より多くの人が利用できるよう AI を活用し、予約方法の多様化や運行情報の見える化を図ります。3 月からは従来の電話予約に加えて、スマートフォンやパソコンから 24 時間いつでも予約が可能になりました。

予約方法

デマンドタクシー利用には事前登録が必要です。

電話予約

■デマンド予約センター 050-1808-7500

※電話番号が変更になりました。

■受付時間 / 午前8時～午後4時

Web 予約

スマートフォンやパソコンから
24時間予約可能



Web アプリ



3つの便利が詰まった WEB 予約アプリ

- ①よく利用する場所をお気に入り登録することで次回以降の予約がスムーズになります。
- ②通知設定をすることで、予約当日の朝や到着 5 分前にお知らせが届きます。
- ③ Web アプリから走行中のデマンド車両の現在位置が確認できます。

interview

利用するのがいつも楽しみ

高齢になり、自動車の運転ができないため、買い物や病院へ行く時などに利用しています。自宅近くから目的地まで送ってもらえるので、たくさん買い物をしても安心して利用できます。オペレーターやドライバーさんも、優しくお話してくれるので利用するのがいつも楽しみです。



デマンドタクシー利用者
岩見 ^{このむ} 好さん

公共交通を通して人とまちをつなぐ

市島地域鴨庄地区では、デマンドタクシー導入以前から、特定非営利活動法人「鴨庄」による自主運行バス「鴨庄ふれあいバス」が運行し、地域の貴重な生活交通手段であるとともに、高齢者の見守りにも寄与しています。また、タクシーも大切な交通手段です。

一人ひとりが日頃から公共交通を利用することで地域の交通手段を守り、未来につなげていきましょう。

